

経営比較分析表（平成30年度決算）

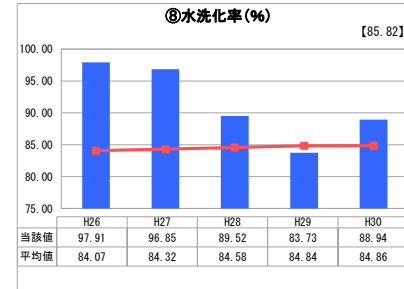
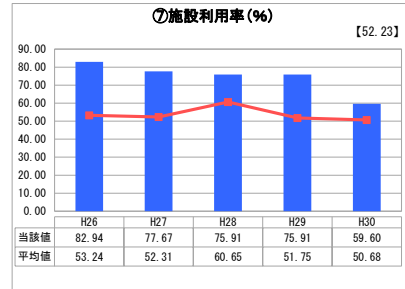
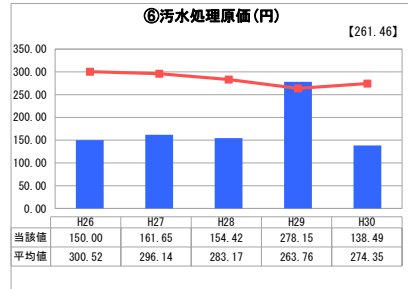
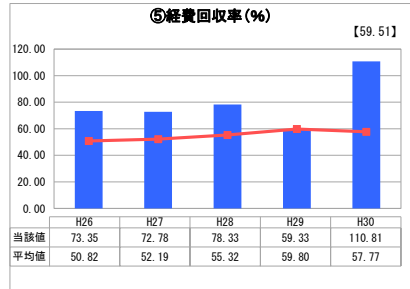
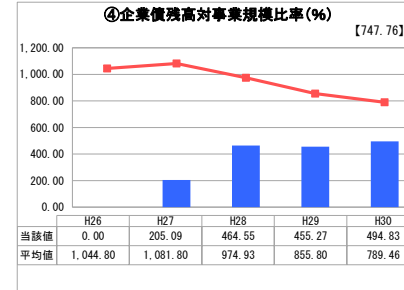
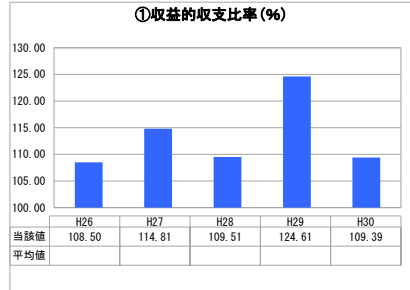
岐阜県 坂祝町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	25.73	72.09	3,130

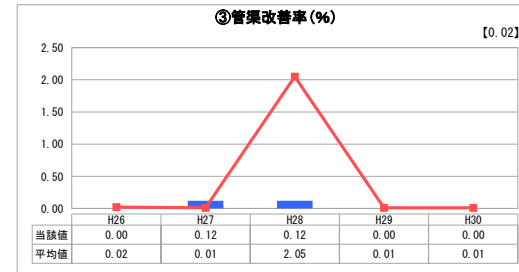
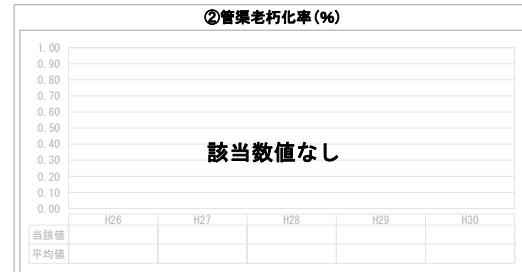
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,253	12.87	641.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,124	1.00	2,124.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率(%)
平成27年度から一部処理場において機能強化による起債が平成30年度においては急激な右肩下がりとなっておりますが、老朽化した施設の修繕費が増えたことが原因となります。

②③累積欠損比率・流動比率(%)
このグラフを見る限り不安定な経営となっております。使用料改定の検討が必要と感じますが、小さな町の中に他に公共下水道事業もあることから、料金の改定については公平性を考慮し検討をしていきます。

④企業債残高対事業規模比率(%)
平成27年度から一部処理場において機能強化による起債が増額しております。また、平成30年度に若干の増額となっておりますが、公営企業会計化に伴う起債をしたものです。平成31年度から機能強化によって新たに宅地化が進むものと考えられ、その管理整備に当たって企業債の借入れを今後予定しており増額傾向となります。このことについても料金改定も視野に入れて計画をすることとなります。

⑤経費回収率(%)
使用人口の増加により、使用量及び料金収入が増加したことによりです。

⑥汚水処理原価(円)
使用人口の増加により排水量が増加したことが要因となります。

⑦施設利用率(%)
機能強化により計画処理能力に近づいたものと考えられます。

⑧水洗化率
一部処理場が機能強化したことにより対象者が増えたため水洗化率が上がりました。

2. 老朽化の状況について

当町では、現在4つの処理施設があり、そのうち3施設では昭和63年度、平成6・8年度と供用開始し、約20年以上経過をしております。その為、処理場の機械設備等の故障、管路の不排水の流入が目立ち始めており、緊急性がある箇所から修繕を行っていく必要があります。

令和2年度には、この3施設について機能診断と最適化構想の策定を予定しており、その中で今後の施設・管路の改修、処理区の統合など計画的な施工計画を検討してまいります。

全体総括

当町は、面積が小さく、人口も少ない小さな町であります。下水道は、公共下水道区域、農業集落排水処理区域があり、殆どの地域で整備が終わり維持管理型の運営を行っております。現在は自主財源で賄うことが出来ず、不足の費用を一般会計から繰入金にて依存している特別会計であります。その為に平成31年度から「中身がみえる会計」である公営企業会計(法適用)へ移行しましたので、今後は現状を把握しながら、無駄な経費削減、料金改定、処理区の統合などを視野にいれて、安定な経営を目指すように進めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。